

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。一般の方もご参加いただけます。

2018年

11月20日(火) 18:00～

目黒区美術館長
秋山 光文氏

『仏像誕生への道 — インド仏教美術ことはじめ』

仏教美術はインドから始まりアジア各地に多様な広がりを見せました。

しかし、その淵源であるインドにおいて、最初期の仏教美術は釈尊の遺骨(舍利)を安置する仏塔を装飾することから始まりました。つまり、礼拝対象としての仏像は当初から存在していたわけではなく、仏像が誕生するのは、最初期の仏教美術の誕生からおよそ300年ほど後のこととなります。今回は、仏像が登場するまでのインドの初期仏教美術について、多くの作例をご覧いただきながらわかりやすくお話ししたいと思います。

秋山 光文 (あきやま てるふみ)

【略歴】

1948年神奈川県鎌倉市生まれ、東京都出身。

早稲田大学第一文学部美術史専修卒業、同大学大学院人文科学研究科修士課程修了。文部省アジア地域派遣留学生として、インド国立デリー大学大学院博士課程に在籍し、インド仏教美術に関する調査・研究を行う。
早稲田大学文学部助手・講師を経て、お茶の水女子大学文教育学部助教授に就任。教授に昇進後同大学評議員、附属小学校長を併任し、2014年3月お茶の水女子大学を定年退職し、お茶の水女子大学名誉教授となる。同年4月放送大学客員教授に就任。
2015年4月(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館長に就任。
専攻は、古代インド仏教美術史を基盤とし、インドに発生した仏教美術の特質およびアジア各地域での受用のあり方を探る。現在、放送大学東京足立学習センター客員教授としてインド仏教美術史の講座を担当する。また目黒区美術館では館長職を務める傍ら、「館長トーク」として古代インド仏教美術に関する教養講座を担当。

【主な著作】

- ・「インド仏教美術の諸相」『東洋の美術』(芸術学フォーラム4)2006年7月 勁草書房
- ・『仏教美術事典』(編集・執筆) 2002年7月 東京書籍
- (総説)「インドの仏教美術」、「東南アジアの仏教美術」および本文の執筆・校閲
- ・共著『世界美術大全集(東洋編)』第13巻 インド(1)2000年5月 小学館
- ・共著『世界美術大全集(東洋編)』第12巻 東南アジア 2000年12月 小学館
- ・展覧会カタログ『豊饒なるインド展』(秋山編)
- 論文:「インド美術の流れ——動物表現を中心に」(執筆) 1988年8月 読売新聞社
- ・展覧会カタログ『インド・マトゥラー彫刻展』
- 論考:「グプタ時代の史的展開とインド美術」(執筆) 2003年10月 日本放送協会

など



申込方法

事務局まで直接お問い合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp http://ja2pa.or.jp



一般社団法人 日本アート評価保存協会